

平成 23 年度信州大学第 8 回 FD ショートセミナー

学生の理解度把握について考える（2）

ファシリテーター：松岡幸司

(maulwurf@shinshu-u.ac.jp)

全学教育機構准教授

高等教育研究センター兼任 FD 担当

日時：平成 23 年 12 月 13 日（火）16 時 30 分～18 時 00 分

場所：メイン会場：信州大学松本キャンパス全学教育機構北校舎 211 番演習室

その他、信州大学各キャンパス、高等教育コンソーシアム信州加盟大学の各会場

前回のショートセミナーでは「学生の理解度把握について考える（1）」として、学生の理解度を把握する上での問題点および実践例とそれに付随する問題点を挙げることで「問題点の把握と整理」を行いました。今回はそれに引き続き（2）として、問題点への対処法・解決法をみなさんで考えたいと思います。

全学的に、あるいは部局単位の統一的な方法をとることが理想的ではありますがそれは非常に難しいことでしょう。その前に、個々の教員あるいは教員グループでできることから試行実践し、複雑に絡み合った問題をひとつひとつほぐしていくことは、有効な方法であると思われます。実践例や抱えている問題点を出し合うことで、お互いにヒントになる部分もあるでしょう。また教員同士で検討していくことで、新たな視点・方法が浮上してくることもあると思われます。積極的な意見交換をしていきましょう。

（別紙の pdf ファイルが前回のグループワークのまとめです。）

0. 導入：前回のまとめと今回への接続（資料は最後のページにあります）

- ・第 7 回ショートセミナーの「グループワーク①と②のまとめ」について
 - 理解度を把握する主体について（教員か、学生か）
 - 理解度把握の取り組み主体について（組織によるか、個々の教員によるか）
 - 対処法を考える上での視点の整理（授業形態、方法・使用媒体 その他）

1. グループワーク：学生の理解度把握における問題点への対処法

- ・実践例における問題点について、その対処法を考えます。

2. 全体ディスカッション

- ・グループワークの成果を踏まえて、より具体的な対処法について考え、共有します。

3. まとめ

- ・グループワーク・ディスカッションの内容を振り返り、実践に向けての橋渡しを行います。

1. グループワーク：学生の理解度把握における問題点への対処法（16:45～17:30）

- ・実践例における問題点について、その対処法を考えます。

1) グループワークを行うにあたって

- ・別紙の「グループワーク①と②のまとめ」を共通認識の出発点とします。
- ・具体的な方法を考える際には、導入で提示された視点を参考にしてください。
 - 授業形態，クラスサイズといった前提条件を明確にする。
 - 仮に担当していなくても，イメージ上での考えも新たな視点になります。
 - 実践例がなかったとしても，他の方のヒントになる可能性がありますので，率直な意見の交換をお願いします。

2) グループワーク（20～25 分程度）

- ・記録者・発表者を決め，メンバー名とともにプレゼンテーション用紙に記入してください。
- ・学生の理解度把握を行う際の問題点や実践例・対処法を，メンバー内でお互いに挙げ，具体的に文字化してください。ブレインストーミング的に率直な意見を出し合うことが肝心です。それによって，あらたな視点や観点が出てくるきっかけ作りになります。
- ・プレゼンテーションで使うために，ディスカッションの内容をプレゼンテーション用紙にまとめてください。各項目については，書き込める範囲でかまいません。

3) プレゼンテーション：(10～15 分程度)

- ・ディスカッション内容の共有を目的に各グループにプレゼンテーションをしてもらいます。
- ・各グループの持ち時間は 3 分程度です。
(制限時間は，当日のグループ数によって異なります)
- ・制限時間でプレゼンテーションは終了です。時間厳守をお願いします！

☆ プレゼンテーション用紙は，回収した後でまとめを行い，今後の実践に向けての資料として使わせていただきます。

（個人メモ用）

グループワーク：学生の理解度把握における問題点への対処法			
メンバー			
記録者		発表者	
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			
授業形態		クラスサイズ	
実践例・問題点・対処法			

0. 導入：前回のまとめと今回への接続（16:30~16:45）

1) 第 7 回ショートセミナーの「グループワーク①と②のまとめ」について

2) 学生の理解度を把握する上で意識すべき視点について

- ・ 理解度を把握する主体について
 - 教員

 - 学生

 - 組織

 - 個々の教員

 - 対処法を考える上での視点の整理

 - 授業形態やクラスサイズ

 - 実施方法や使用媒体

 - その他

3. まとめ（17:55~18:00）

1) 振り返り

2) 実践に向けて